

地域連携サポート推進員を目指す

平成 30 年 4 月から
活動しています

いん なみ さきと
印南 咲輝人です。



▼印南隊員は現在、地域連携サポート推進員を目指し、「るもい健康の駅」を拠点に「地域包括ケアの推進を軸とした健康づくり関連人材」としての専門知識や技術などの習得に励んでいます。

『私は、陸上自衛隊札幌駐屯地で2年間勤務した後、千葉県内の専門学校で救急救命士の資格を習得しました。

以前から、これまでの経験や習得した資格を生かして健康分野で活躍したいと考えていました。自分が知らない土地で、多くのことに挑戦したいと思い、留萌市への移住を

決意しました。

まだ越してきて日は浅いですが、留萌市は海が美しく、自然が豊かなまちだと感じています。地域の皆さんとのつながりを深めながら、地域のニーズなどを学び、今後の活動に生かしていきたいと考えています』



子どもたちに音楽の魅力伝えたい

▼安西隊員は現在、市内で吹奏楽の指導に関わる活動などの音楽合宿への支援に取り組んでいます。



『私は、これまで吹奏楽指導者の育成などの仕事に携わってきました。

音楽合宿をきっかけに、2年ほど前から留萌市に訪れるようになり、留萌高校吹奏楽部の部員たちに音楽指導する機会がありました。その際、部員たちの音楽に対する誠実さに感銘を受けました。今後

は、市内の小学校、中学校、高校への音楽指導を通して、子どもたちに音楽の魅力を伝えたいと考えています。

音楽合宿については、全国的にも画期的な取り組みと注目されていますが、その開催地の知名度はまだ低いため、広く知られていません。地域おこし協力隊の活動を通じながら、留萌市のPRにも貢献していきたいですね』

平成 30 年 6 月から
活動しています

あんざい ゆうじ
安西 裕司です。



地域おこし協力隊

活気ある地域づくりのため
それぞれの立場で連携

地域住民

行政

活気ある地域づくりを進めるためには、「地域おこし協力隊」「地域住民」「行政」がそれぞれの立場で連携していくことがとても大切です。みんなで協力しながら、活気ある地域を一緒に作りましょう。

特集



こんにちは 地域おこし協力隊です

「地域おこし協力隊」の隊員たちは、活気ある地域づくりと留萌市への定住に向け、さまざまな活動に取り組んでいます。

問 市・政策調整課 ☎ 42-1809

ただいま、3人の隊員が留萌市内で奮闘中！

▼「地域おこし協力隊」の隊員は、おおむね1年から最長3年までの期間中、委嘱された地方自治体からの支援を受けながら、さまざまな活動に取り組みます。

市内では現在、28年度と30年度にそれぞれ委嘱された3人の隊員が活動しており、それぞれの目標や夢を持って定住・定着の道を模索しながら、活力ある地域づくりの一助として、自身の才能や能力、特技などを生かして頑張っています。

市では、「地域おこし協力隊」の隊員として、これまでに15人（現役隊員を含む）を委嘱しました。

そのうち、委嘱期間を終えた6人の隊員が留萌市に定住し、現在も地域の一員として活躍しています。

わたしたちが地域おこし協力隊です

定住に向けて準備を進めたい

平成 28 年 8 月から
活動しています

あいかわ はるき
相川 春生です。



▼相川隊員は現在、「幌糠農業・農村支援センター」で農作物の試験栽培などに取り組んでいます。また、インターネットを活用し、自分たちの活動や地域の魅力などの情報を全国に発信しています。

『私は今、幌糠農業・農村支援センターの実験ハウスを活用し、春採りイチゴなどの試験栽培に取り組んでいます。平成28、29年度の収穫はますますのことでしたので、今年も良い生育を期待しています。また、今年度

は、情報発信の取り組みとして、ドローン（小型無人飛行機）を活用した映像制作にも挑戦したいと考え、準備を進めています。

今年度は、地域おこし協力隊としての委嘱期間が終了となる年ですので、留萌に定住するための準備を進めていきたいと考えています』

